

企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

埼玉県

白岡市



水と緑、うるおいとやすらぎに満ちた、
自然と調和したまち。

関東平野の中ほど、埼玉県東部に位置する白岡市は東京都心まで約40km。JR宇都宮線をはじめ、東北自動車道や圏央道、国道122号、県道8路線が市内を走り、交通の利便性に恵まれたベッドタウンとして発展してきました。市内には29本の川が流れ、田畑や果樹園、森林などが残り、梨の里、みどりの里、水の里、歴史の里として親しまれる自然と調和した住みやすい街です。



取材・写真協力：白岡市商工観光課

① 梨

甘くてジューシーな白岡の梨は「白岡美人」の愛称で親しまれ、埼玉県内有数の生産量を誇っています。4月中旬には市内の梨園が梨の花で白一色になります。



② 白岡八幡神社

「八幡様」の名で親しまれる白岡八幡宮は、849(嘉祥2)年、慈覚大師円仁の草創とされ、1195(建久6)年には源頼朝が社殿を造らせたと言われています。



③ 高台橋

白岡名所の一つ、隼人堀川に架かる高台橋は春になると桜などが満開となり、毎年シーズンには多くの写真を撮る人やスケッチをする人で賑わいます。



④ 柴山伏越(河川立体交差)

柴山伏越は川と川が立体交差している場所で、「紀州流」という江戸期の土木技術が使われています。白岡市内には河川立体交差が9カ所あり、これは全国的にも非常に珍しいものです。



⑤ 古代蓮

白岡市内で発見された「古代蓮」は約1200年前頃のものだと推定されています。7月上旬から7月下旬までが開花時期で、朝の5時頃から咲き始め、鮮やかな美しさを見せてくれます。